



## 玉村町立南小学校

中部教育事務所

学校教育係指導担当 2023年2月発行

## 5年社会科 授業レポート

単元名：工業生産を支える輸送と貿易

ねらい：工業製品の輸送方法を比較することで、運ぶものの種類や条件によって、輸送手段を使い分け、組み合わせて運んでいることを説明することができる。

## 大型モニタ

## 1 本時の課題をつかむ

鹿兒島から南小デパートにいくつかの工業製品を運ぶにはどのような運び方があるのだろうか。



前時で児童が作成した「各輸送方法のメリット・デメリット」を大型モニタで提示し、前時の流れを想起させながら、本時のめあてを設定しました。

## Jamboard

## 2 自力解決する

ゲームを安く大量に運ぶためには、船と何を組み合わせたらいいのだろうか？精密機械だし、運送中に壊れてしまうのも困るな。



Jamboardのホワイトボード機能を使い、最適な輸送方法について、輸送手段や理由が書かれたデジタル付箋を試行錯誤しながら動かし組み合わせ、課題に対して自力解決しました。

## Jamboard

## 3 集団解決する

東京から南小までは、トラックだと直接運べるけれども、大量にあるからなあ。倉賀野駅まで鉄道の方がいいのかな・・・。

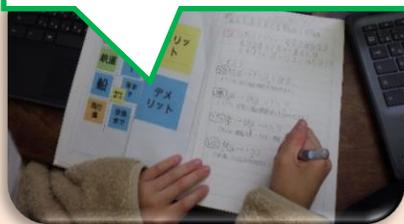


各自が考えた輸送方法を一人一台端末で見せ合い、集団解決しながら最適な輸送方法を話し合いました。考えは図式化してあるので、視覚的に捉え、比較しやすく、考えを集約するのに役立ちました。

## 大型モニタ

## 4 全体で共通点や相違点を出し合い、焦点化する

どのグループもトラックとの組合せ方は共通だな。ただ、環境への配慮を考えると組合せは変わってくるな。



Jamboardで各グループが考えた6通りの輸送方法を比較することで、多面的・多角的な考察につなげ、工業製品の輸送方法の共通点や相違点を焦点化しました。この際、教師が補助発問を適時適切に行うことで、新たな視点を与え、考えを深めさせていました。

## 5 本時のまとめをする

工業製品の種類や条件によって、色々な輸送手段を使い分け、組み合わせることで運送を便利にしている。

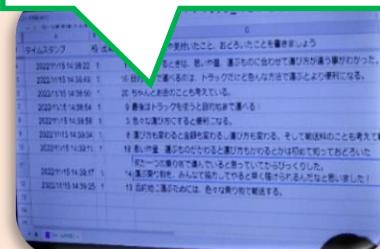


児童の言葉を使って、一時間の学習内容をまとめることができました。また、黒板に児童の思考の足跡がしっかり残っているので、黒板を見ながらスムーズに振り返りに取り組みました。デジタルを使いつつも、黒板やノートに要点をしっかりと書き残していました。

## Google forms

## 6 本時の振り返りをする

トラック、鉄道、船、飛行機、1つでも輸送手段がなくなったら大変だな。



振り返りをformsに記入させることで、瞬時に友達の振り返りを全体で共有しました。このことにより、自分では気付かなかった「分かったこと」について考えを広げ、学び合う楽しさや良さを実感することができました。